



Heartful Technology

Yushin

株主通信

第 **41** 期

2013年4月1日～2014年3月31日

株式会社 **ユーシン精機**

Yushin Precision Equipment Co., Ltd.

証券コード6482(東証第一部)

HSA

世界最速取出タイムの記録を更新 - 0.27 秒

(K2013 展示会 - ドイツ・デュッセルドルフ)

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は当社の事業運営に格別のご高配、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社第41期事業年度(2013年4月1日から2014年3月31日まで)を終了いたしましたので、その概況につきまして、以下のとおりご報告申し上げます。

代表取締役社長
小谷 真由美

社長インタビュー

Q 第41期の業績についてお聞かせください。

A. 第41期の連結売上高は179億929万円(前期比21.7%)の増収、利益面では、営業利益は27億9,205万円(前期比86.3%増)、経常利益は30億9,525万円(前期比77.2%増)、当期純利益は18億9,302万円(前期比69.8%増)となり増益となりました。

Q 増収増益となった要因は何でしょうか。

A. 主力製品の取出口ボット、なかでも最適設計※を取り入れたSCシリーズとYCシリーズが順調に売上を伸ばしました。高速化、制振性、省エネ性を追求したこれらの取出口ボットが世界各国で認められ、韓国、アメリカ及び中国を中心に販売台数が増加しました。

特注機分野では、半導体関連装置の売上が伸びました。医療関係への売上も国内外で好調に推移しました。

更には、為替の好転、継続的なコスト削減活動による原価低減、海外現地調達拡大に伴うコストダウンによって利益が増加しました。

Q 株主還元策についてお聞かせください。

A. 株主のみなさまへの利益還元は、経営の重要課題の一つとして事業経営にあたっています。安定的な経営基盤の確保と株主資本利益率の向上に努めるとともに、各期の業績を十分に勘案した配当によって利益還元を行うことを基本方針としています。具体的には、配当性向の目標を個別当期純利益の30%としています。

第41期におきましては、1株当たり年間配当金30円を実施し、配当性向(個別)は32%となりました。

Q 最後に株主のみなさまにメッセージをお願いいたします。

A. お陰様をもちまして、株式会社ユーシン精機は2013年10月に設立40周年を迎えました。これもひとえに、多くの皆さまのご理解とご協力があったからこそであり、あらためまして心より厚く御礼申し上げます。

今後も多様化、高度化するお客様のご要望にお応えする製品開発に尽力し、社名の由来でもある「信用ある会社」であり続けるよう精進してまいります。引き続き、温かいご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

※最適設計

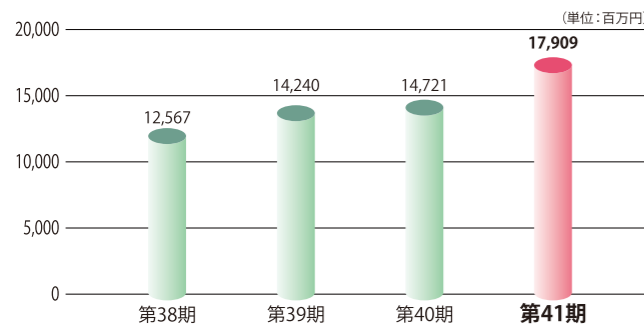
最適設計とは、ロボットの機構やその動きを考慮して、CAE(計算機支援技術)により理論的な最適形状を求める手法です。航空機や自動車などを軽量かつ信頼性の高い構造にするために近年応用されています。

当社では京都大学との共同研究により、まずアタッチメントヘッドに採用、実用化の後、取出口ボットに順次採用しています。

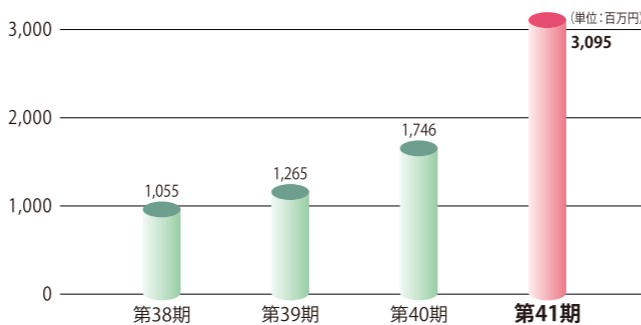


最近の連結業績の推移

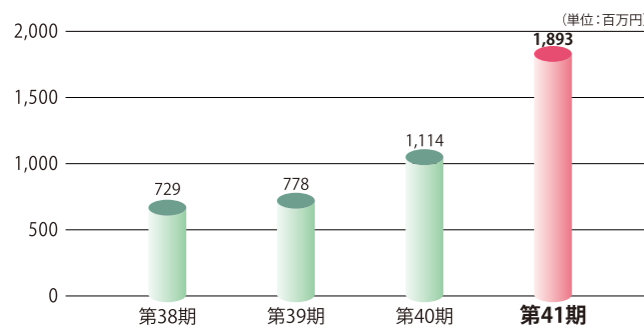
売上高



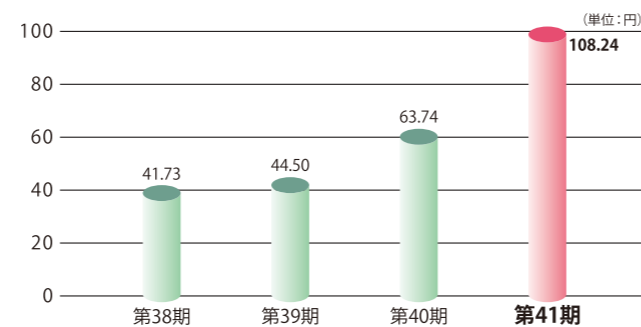
経常利益



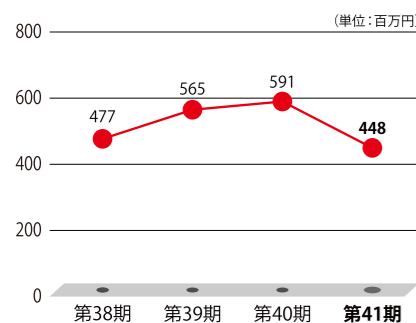
当期純利益



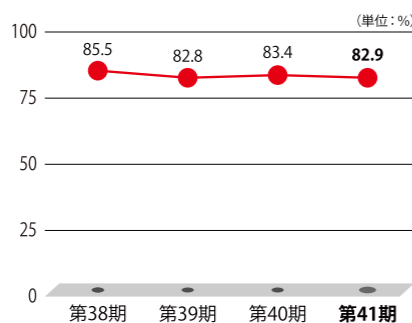
1株当たり当期純利益



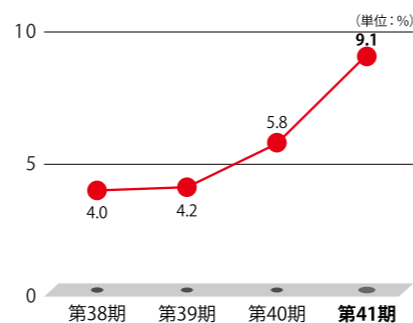
研究開発費



自己資本比率



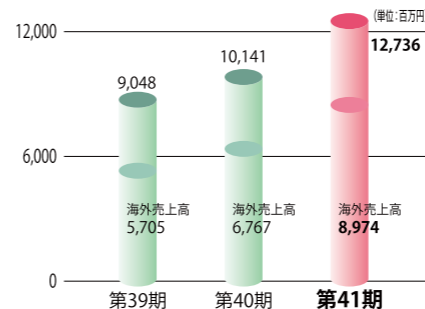
ROE(自己資本利益率)



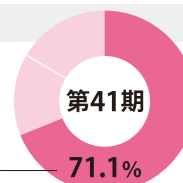
営業の概況

品目別売上高について

取出口ロボット

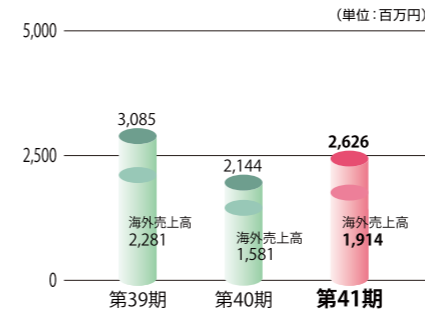


売上高構成比
取出口ロボット

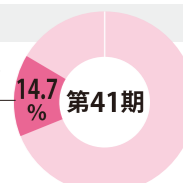


- 前期比2,594百万円増(25.6%増)の12,736百万円となりました。
- 最適設計を取り入れた主力製品SC・YCシリーズが順調に売上を伸ばしました。

特注機

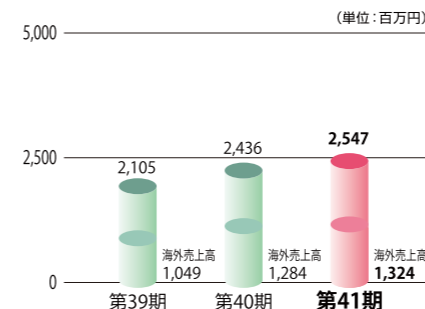


売上高構成比
特注機

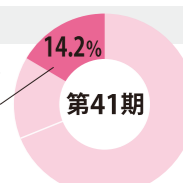


- 前期比482百万円増(22.5%増)の2,626百万円となりました。
- 主に半導体関連装置が売上を伸ばしました。

部品・保守サービス



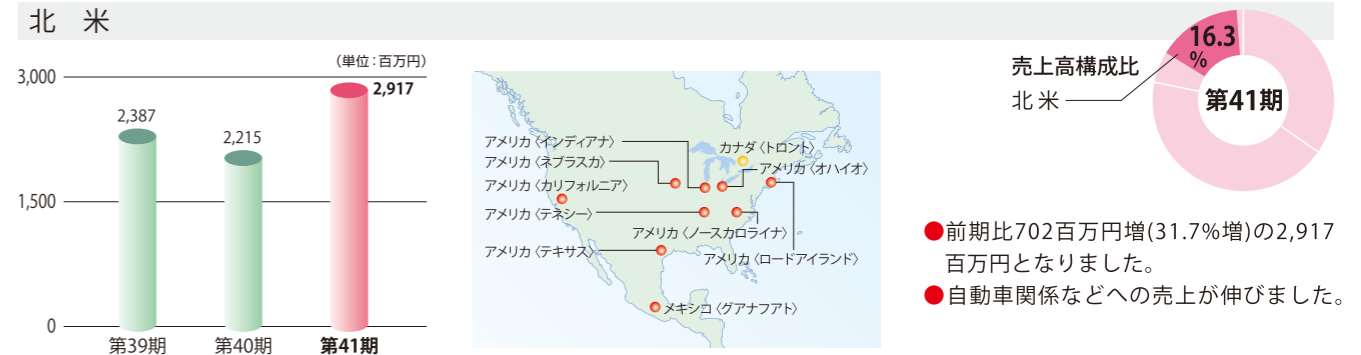
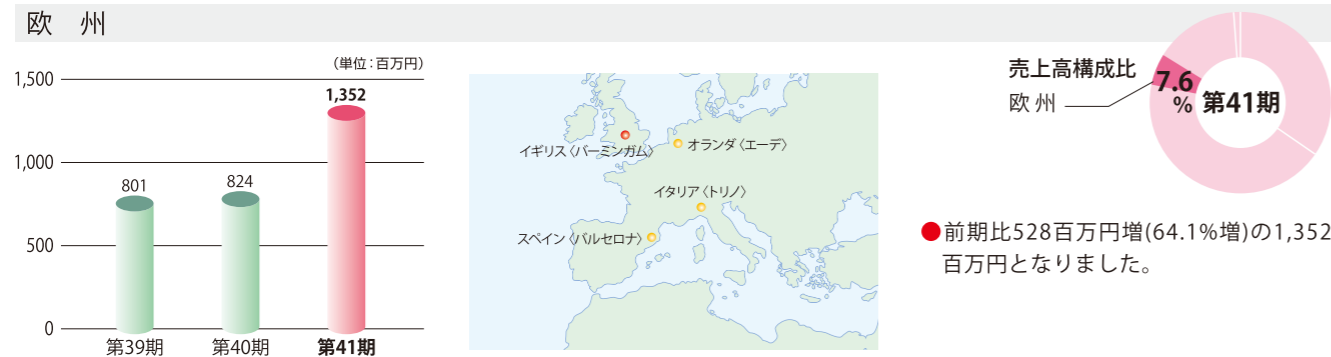
売上高構成比
部品・保守サービス



- 前期比110百万円増(4.5%増)の2,547百万円となりました。

営業の概況

地域別売上高について



◆ベトナム子会社設立

2014年2月、ベトナムのハノイに100%出資の子会社 Yushin Precision Equipment (Vietnam) Co., Ltd. を設立しました。

当社ではこれまで2005年にハノイ駐在員事務所、2009年にホーチミン駐在員事務所を開設し、市場調査などを行ってまいりました。現在ベトナムでは、通信機器(スマートフォン)、OA機器(プリンター、複合機)、二輪・自動車、

電子機器、家電を中心としたグローバル企業の進出が顕著となっており、それに伴う工場の自動化ニーズが高まっています。

今後はこれらの需要に応えるべく、ベトナム新子会社とホーチミン駐在員事務所の両拠点を通して、主力製品である取出口ボットの販売、技術指導、据付や修理を手がけてまいります。

連結財務諸表（要約）

●連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	第40期 (2013年3月31日)	第41期 (2014年3月31日)
資産の部		
流動資産	17,022	17,810
現金及び預金	7,345	7,728
受取手形及び売掛金	4,601	5,263
有価証券	300	—
たな卸資産	4,028	3,990
その他	746	828
固定資産	6,721	8,441
有形固定資産	6,136	7,758
建物及び構築物	1,954	1,846
土地	3,953	5,640
その他	228	271
無形固定資産	100	146
投資その他の資産	485	536
投資有価証券	246	230
その他	238	306
資産合計	23,744	26,252

(単位:百万円)

科目	第40期 (2013年3月31日)	第41期 (2014年3月31日)
負債の部		
流動負債	3,700	4,107
支払手形及び買掛金	1,719	1,696
未払金	907	633
未払法人税等	280	767
その他	792	1,009
固定負債	178	268
負債合計	3,878	4,376
純資産の部		
株主資本	20,051	21,418
資本金	1,985	1,985
資本剰余金	2,023	2,023
利益剰余金	16,390	17,758
自己株式	△ 348	△ 350
その他の包括利益累計額	△ 259	335
少数株主持分	73	121
純資産合計	19,865	21,875
負債純資産合計	23,744	26,252

●連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	第40期 (2012年4月1日～2013年3月31日)	第41期 (2013年4月1日～2014年3月31日)
売上高	14,721	17,909
売上原価	8,950	10,269
売上総利益	5,770	7,640
販売費及び一般管理費	4,272	4,848
営業利益	1,498	2,792
営業外収益	252	305
営業外費用	4	2
経常利益	1,746	3,095
特別利益	35	91
特別損失	2	23
税金等調整前当期純利益	1,779	3,163
法人税等	593	1,208
少数株主損益調整前当期純利益	1,186	1,955
少数株主利益	71	62
当期純利益	1,114	1,893

●連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	第40期 (2012年4月1日～2013年3月31日)	第41期 (2013年4月1日～2014年3月31日)
① 営業活動によるキャッシュ・フロー	520	2,575
② 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 781	△ 2,389
③ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 351	△ 569
現金及び現金同等物に係る換算差額	164	325
現金及び現金同等物の増減額	△ 448	△ 58
現金及び現金同等物の期首残高	8,013	7,564
現金及び現金同等物の期末残高	7,564	7,506

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益の3,163百万円に加えて、売上債権による増加額377百万円があり、法人税等の支払額756百万円を差し引いた営業活動によるキャッシュ・フローは、2,575百万円の収入超過(前期は520百万円の収入超過)となりました。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出2,264百万円により、投資活動によるキャッシュ・フローは2,389百万円の支出超過(前期は781百万円の支出超過)となりました。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払額が524百万円ありましたので、財務活動によるキャッシュ・フローは569百万円の支出超過(前期は351百万円の支出超過)となりました。

トピックス & 新製品ニュース

京都市内での土地取得



2013年7月に本社近郊の土地6,350坪(約21,000㎡)を取得しました。JR向日町駅から近く、国道171号線に面した立地です。将来の業容拡大と生産性の向上に向けて、2016年度中には新本社竣工を予定しております。

Chinaplas 2014へ出展

2014年4月、上海(中国)で開催されたアジア最大のプラスチック・ゴム工業見本市であるChinaplas 2014展示会が開催されました。アジア諸国をはじめ、世界各国から13万人を超える人が訪れたいへん活気のある展示会でした。

当社では、最適設計を採用したサーボトラバース取出口ロボット「SCシリーズ」を展示しました。機体を

取出口ロボットHSTシリーズを発売

2014年4月1日、京都大学と共同開発した設計技術「最適設計」を採用したサーボトラバース取出口ロボット「HSTシリーズ」を発売しました。

HSTシリーズは、従来のシリーズと比較して、駆動部を70kg以上軽量化し、駆動モータを大型化せずとも取出タイムを9.2%短縮しました。また最適設計、CFRP(炭素繊維強化プラスチック)素材、制振制御技術を組み合わせることで、整定時間を従来機比98.6%短縮することに成功しました。安定した高速取出しを実現し、お客様の生産性向上に貢献する新型ロボットです。



最適形状ロボット HST

軽量化し、高速性と制振性を高めて生産性の向上を追求したロボットです。また大幅な省エネ化にも成功しており、お客様のランニングコスト削減への寄与が期待できます。

賃金上昇や物価高騰が続く中国、東南アジアにおいて自動化ロボットへの注目度は高く、当社SCシリーズの省エネ性能は来場者の関心を集めました。

会社概要・株式情報

商号 株式会社ユーシン精機
YUSHIN PRECISION EQUIPMENT CO., LTD.
設立 1973年10月
資本金 1,985,666千円
本社所在地 京都市伏見区久我本町11番地の260
TEL.075-933-9555(代) FAX.075-934-4033
事業内容 取出口ロボットを中心にプラスチック射出成形工場の合理化・FA化を推進する機器・システムの開発、製造、販売

役員一覧 (2014年6月26日現在)

代表取締役社長	小谷 眞由美
専務取締役	木村 賢
常務取締役	大立 泰治
常務取締役	北川 康史
取締役	辻本 雄二
取締役(社外)	西口 泰夫
取締役(社外)	松久 寛
常勤監査役	澤田 主二郎
監査役(社外)	折田 泰宏
監査役(社外)	吉川 孝雄
監査役(社外)	鎌倉 寛保

株式の状況 (2014年3月31日現在)

発行済株式の総数 17,819,033株
期末株主数 4,051名

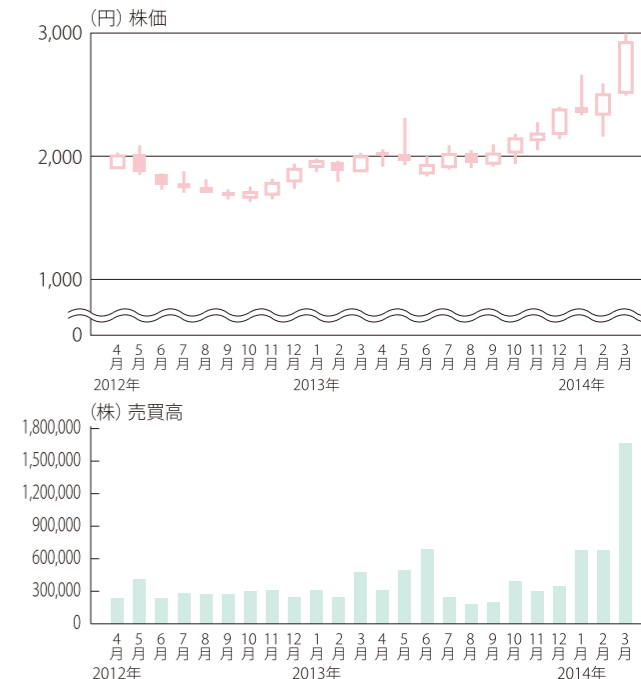
● 株式分割の推移

1996年 5月 1割
1997年 5月 2割
1998年 5月 2割
1998年 11月 2割
1999年 11月 2割
2000年 5月 1割
2001年 5月 1割
2004年 5月 1割
2008年 4月 1割

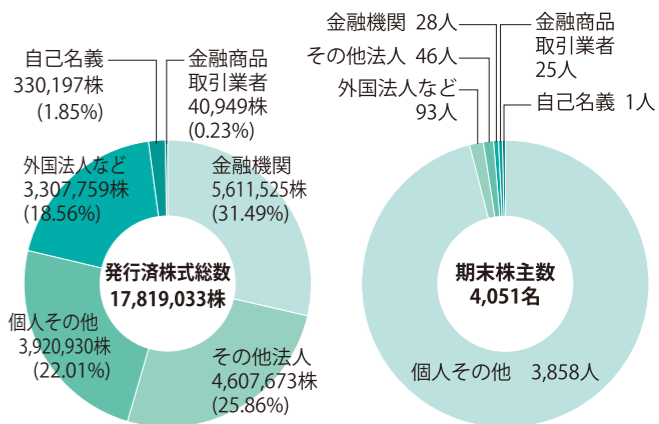
● 配当金の推移

2009年 3月期 28円
2010年 3月期 15円
2011年 3月期 18円
2012年 3月期 20円
2013年 3月期 30円
(40周年記念配当10円含む)
2014年 3月期 30円

● 過去2年間の株価・売買高 (東証第一部)



● 株主構成 (株数別、人数別)



●国内ネットワーク

- 本社・工場
- 中部統括営業所
- テクニカルセンター
- 静岡営業所
- 東京統括営業所
- 名古屋西営業所
- 西関東営業所
- 西日本統括営業所
- 長野営業所
- 富山営業所
- 北関東統括営業所
- 広島営業所
- 東北営業所
- 福岡営業所
- 岩手サテライト
- 大分サテライト
- つくば営業所

●連結子会社

- Yushin Korea Co., Ltd. 〈韓国〉
- 有信国際精機股份有限公司 〈台湾〉
- 有信精机商貿(上海)有限公司 〈中国〉
- 有信精机貿易(深圳)有限公司 〈中国〉
- Yushin Precision Equipment (Vietnam) Co., Ltd. 〈ベトナム〉
- PT. Yushin Precision Equipment Indonesia 〈インドネシア〉
- Yushin Precision Equipment Sdn. Bhd. 〈マレーシア〉
- Yushin Precision Equipment (Thailand) Co., Ltd. 〈タイランド〉
- Yushin Precision Equipment (India) Pvt. Ltd. 〈インド〉
- Yushin Automation Limited 〈イギリス〉
- Yushin America, Inc. 〈アメリカ〉
- 广州有信精密機械有限公司 〈中国〉

●駐在員事務所

- フィリピン駐在員事務所 〈フィリピン〉
- ホーチミン駐在員事務所 〈ベトナム〉

●総代理店

- Tasman Machinery Limited 〈ニュージーランド〉
- Tasman Machinery Pty Limited 〈オーストラリア〉
- MACAM S.r.l 〈イタリア〉
- Polymac-Robotics B.V. 〈オランダ〉
- MECMAN INDUSTRIAL, S.L. 〈スペイン〉
- En-Plas Inc. 〈カナダ〉

●株主メモ

- 証券コード 6482(東証第一部)
- 単元株式数 100株
- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 基準日 定時株主総会 3月31日
剰余金の配当 期末 3月31日
中間 9月30日
- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
(お問い合わせ先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
TEL.0120-094-777(通話料無料)
- 公告方法 電子公告 当社ホームページにて掲載
(<http://www.pronexus.co.jp/koukoku/6482/6482.html>)

○株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。
電話(通話料無料) 0120-244-479(本店証券代行部) 0120-684-479(大阪証券代行部)
ホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

ホームページのご案内

ホームページにて当社の企業情報を随時開示しております。
製品紹介、各種リンク、サポート情報等を掲載しているほか、
IR情報のサイトでは決算短信等をご覧いただけます。



トップページ



IR情報ページ

<http://www.ype.co.jp/>

Heartful Technology

Yushin 株式会社ユーシン精機

〒612-8492 京都市伏見区久我本町11番地の260
TEL.075-933-9555(代) FAX.075-934-4033
ホームページ <http://www.yushin.com>



この冊子は、環境に配慮した
ベジタブルインクを
使用しています。

